

ホッスガヤ

Calamagrostis pseudo-phragmites
(Haller fil.) Koeler

イネ科
Gramineae

カテゴリー

大分県 II
環境庁 掲載なし

選定理由 九州では本県だけに分布し、生育地は少ない。崩壊地などの不安定な生育環境に生えるため、生育状態の消長が著しく、生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布 津江山地、九重火山群、由布・鶴見火山群

分布域 北海道 本州 九州(大分)
旧大陸温帯

生育環境 低山地や山地の崩壊地、溪流辺。

現 状 崩壊地などの不安定な環境に生育し、しばしば群生することがある。生育状態の消長が著しく、消滅した所がある。

備 考 本県は、分布の南限域にあたる。

タカネノガリヤス

Calamagrostis sachalinensis
Rendle

イネ科
Gramineae

カテゴリー

大分県 情報不足
環境庁 掲載なし

選定理由

県内分布 (祖母・傾山地)

分布域 北海道 本州(北～中部) 四国 九州(大分)
樺太 南千島 カムチャッカ

生育環境 山地の岩場や林縁?

現 状 「祖母山」の標本及び文献記録があるが、生育地は把握されていない。

備 考 北方寒冷地要素の植物。本県は、分布の南限域にあたる。文献 [初島住彦：九州新産植物 タカネノガリヤスが祖母山に産する。レポート日本の植物 35 (1988)]

タシロノガリヤス

Calamagrostis tashiroi Ohwi

イネ科
Gramineae

カテゴリー

大分県 IB
環境庁 IB

選定理由 四国と九州に限られて分布する。本県でも生育地がごく限られ、個体数も極めて少ない。植生遷移の進行や人による踏みつけなどで、絶滅の危険性が高い。

県内分布 豊後水道後背地域、祖母・傾山地、北川上流域

分布域 四国 九州(大分・宮崎・鹿児島)

生育環境 低山地や山地の岩場、林内。

現 状 尾根筋の岩角地に、ごくわずか生育している。

備 考 ソハヤキ要素の植物。基準標本産地 [傾山] , 国定公園指定植物 [祖母傾]